

世界かんがい施設遺産

おだいようすいろ 小田井用水路

[和歌山県・橋本市他]

Odai Irrigation Canal

河岸段丘を豊かな水田に
～日本の新田開発の礎となった用水路～



- 1710年、紀の川右岸の河岸段丘に建設され、水不足に悩む広大な河岸段丘を豊かな水田に変えた。
- いくつもの河川との交差を、渡井（水路橋）や伏越（サイフォン）の立体交差で克服。
- 大畑才蔵が導入した正確な水準測量と先端技術は、その後の日本の新田開発に貢献する「紀州流」の基礎となった。



1850年頃の龍之渡井絵図



1919年に改修された現存する龍之渡井（上）と改修前（下）



小田井土地改良区

問い合わせ先 小田井土地改良区 TEL. 0736-73-2173